

【鶴岡地域】住民自ら本当の豊かさを追求しみんなが暮らしやすい持続可能なまちづくり事業 「第六学区地域ビジョン事業」

【事業年度：R6】

取組みの背景や経緯

第六学区において少子高齢化、ひとり暮らしの高齢者の増加は深刻な問題となっており、また、空き家の増加も地域の課題となってきた。老若男女が生き生きと生活できる地域づくりをどのようにすべきかについて検討した結果、単身高齢者や空き家が多い町内会をモデル地区に設定し、子どもたちや高齢者が困りごとを気軽に話し合えるの居場所づくりに取り組むこととなった。

事業概要

令和3年度に空き家を活用し、子どもも高齢者も気軽に集える交流居場所「はろ〜くらぶ」を整備した。「はろ〜くらぶ」では「七イベント」等の季節事業、スクラッチアート、映画鑑賞、手芸教室など、住民が主体的に企画した様々な事業が実施され、子どもから高齢者まで多くの人に参加している。令和5年度からはSDGsの開発目標と関連づけた事業を展開している。

事業効果と今後の展望

■事業効果

「はろ〜くらぶ」を活用した事業を継続的に実施することで、幅広い世代の住民が交流するきっかけができた。多くの住民が集える居場所に近づいている。

■今後の展望

SNSを活用した情報発信に力を入れ、サークル活動等を目的とした利用についても勧めていく。学区内のほかの町でも「はろ〜くらぶ」のような活動を広めてもらうように働きかけ、みんなが暮らしやすいまちづくりを推進していく。



<越沢笹巻づくり>



<みんなでスクラッチアート>